

令和7年8月8日

大山町議会議長 吉原美智恵様

大山町議会議員 京力久子

令和7年大山町議会議員研修報告書

1	研修名	令和7年度 鳥取県町村議会女性議員研修会
2	日時	令和7年8月4日（月）
3	出席者	
4	研修地	三朝町「溪泉閣」
5	研修内容	「未来に向かって発言・調査の質向上～今までの当たり前をスクラップ」 茨城県取手市役所総務部情報管理課長 岩崎 弘宜 氏
6	研修結果 又は概要 （意見・ 感想）	現在、一般質問が重視される傾向だが、これからは討議をし、政策提案をしていくことが重要となると伺い、目から鱗が落ちる思いがしました。 一般質問は、主義主張ができるが内容をしっかりと調査し、「何のために」「何をただしたいのか」「何を提案したいのか」を明確にする。調査したものを議長に確認をしたうえで資料として議場内共有する。予算などの数値的な裏づけや法的な裏づけを述べ、「教えてください。」ではなく、「〇〇と聞いておりますがその通りか？」など、自身の言葉で発していきそれで誤りがないのかを問う。政策協議が中心になっていくべき。 そして、独りよがりにならず自身の考えの反対側からも物事を見て、調べて議会に望んでいきたいと思います。議員となったからには、町民のために仕事をしていきたいと思うし、まずは町政に対して町民の声をとどけていきたいと改めて思いました。 議会には、30代から70代まで年齢も主義主張も様々な議員がいます。相手のことをリスペクトしつつ、町民のためにできることを精一杯あきらめることなくひとつずつ前進していきます。